

*本メールは、関東更生支援ネットワークにご登録いただいた方々にbccで一斉配信しております。

~~~~~

目次

- 1 今月の再犯防止トピックス  
「10月の再犯防止・更生支援関連イベントのご案内！」
- 2 再犯防止・更生支援ワード解説コーナー Vol.1  
「CAPIC」って何？
- 3 更生コラム「アスキザス」Vol.3 ～第三の発想～
- 4 お知らせコーナー  
「関東更生支援ネットワークの「愛称」、募集します！」

~~~~~

-
- 1 今月の再犯防止トピックス
「10月の再犯防止・更生支援関連イベントのご案内！」

／
栃木県にお住まいの皆様！
＼

10月18日（月）11時から、栃木県庁において「再犯防止のつどい」が開催されます。刑務所作業製品（革製品、木工小物など）の展示販売のほか、再犯防止の取組を紹介するパネル展示などが行われます。もちろん参加費は無料、どなたでもご参加いただけます。

また、14時から、厚生労働省で「矯正施設退所者地域支援対策官」を務める伊豆丸 剛史氏による、「生きづらさを抱えた自立更生者への福祉的支援について」というテーマでの講演会も行われます。こちらも参加無料ですが、定員は40名、先着順となっていますので、もし既にいっぱいになっていましたらご容赦ください。

詳細は以下の案内ページをご覧ください。

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c03/2021saihanboushinotudoil.html>

（栃木県庁のページです）

* * *

10月23日（土）10時～17時30分まで、「共生社会を創る愛の基金 第10回シンポジウム 「罪に問われた障がい者」の支援 ーともに地域で暮らし続けるためにー」がYouTubeでオンライン配信されます。

3部構成となっており、第1部では、『更生保護・再犯防止』のいま、と題して、法務省をはじめとする関係省庁からの報告のほか、元千葉県知事である堂本暁子さんと、元矯正局長である名執雅子さんによる女子受刑者に関する発表が行われます。

第2部では、「夜明け前から～ポストコロナの共生社会」と題し、中央大学法学部の宮本太郎教授からの基調講演と、社会福祉に携わるフロントランナーの皆様によるディスカッションなどが行われ、第3部では、本年8月2日、76歳でご逝去された、社会福祉法人南高愛隣会顧問の田島良昭氏の思い出を、元宮城県知事の浅野史郎さんと、元厚生労働省事務次官の村木厚子さんが語られます。

非常に盛りだくさんの内容ながら、事前申込等不要で、どなたでも無料でご視聴いただけます。お時間のある方はぜひ、ご覧ください。

配信アドレスはコチラです↓

https://youtu.be/KoZSBvNH_Js

(YouTubeの配信ページにジャンプします)

~~~~~

## 2 再犯防止・更生支援ワード解説コーナー Vol.1

### 「CAPIC」って何？

再犯防止・更生支援の分野には、知る人ぞ知る「ワード」があります。今号からスタートしたこのコーナーでは、知っていると関係者から「おっ、よくご存じで」と思われるワードを解説していきます。

記念すべき第一回は、「CAPIC」です。

\* \* \*

「CAPIC（キャピック）」という言葉、ご存じですか？

CAPICとは、「Correctional Association Prison Industry Cooperation（矯正協会刑務作業協力事業）」の頭文字をとって名付けられた、刑務所で受刑者たちが「刑務作業」として製作した製品、いわゆる「刑務所作業製品」を表す商標です。

刑務所作業製品は、前号の「アスキザス」でも登場しましたが、木工、革、金属、布、紙製品などなど、多種多様なバリエーションが存在します。

例えば、函館少年刑務所発、監獄の「獄」の字とレトロで洒落なデザインを組み合わせ、密かなブームとなった「マル獄」マークの製品や、横浜刑務所発、頑固な泥汚れもみるみる落ちる、子どもの上履き洗いにもってこいと全国のお父さんお母さんに大評判の洗濯石鹸「ブルースティック」など、いずれも安くて高品質ということで、ご愛用いただいている方には根強い人気があります。

通常、スーパーやホームセンターでは手に入らないこのCAPIC製品、その購入方法を今回皆様にご紹介いたします。

#### <方法その1> オンラインで買う！

CAPIC製品を扱うオンラインショップは、実は日本に一つしかありません！それが「e-capic」、アドレスはコチラです↓

<https://www.e-capic.com/>

他のオンラインショップでCAPIC製品を売っているのを見たら、それは「転売品」です！ご注意ください！

#### <方法その2> 常設展示場で買う！

「実際に製品を見て、品質を確認したい」という方のために、常設で製品を展示・販売している常設展示場が全国にあります！東京都中野区新井にある「キャピックショップなかの」のほか、一部の刑務所に併設されているんです。

お近くの常設展示場を知りたい方は、↓のサイトから検索してみてくださいね！

<https://www.e-capic.jp/shop/>

#### <方法その3> 展示即売会・矯正展で買う！

「製品は見たいけど、刑務所まで行くのは大変だし・・・」という方のために、アクセス良好な大手量販店や道の駅などで、期間限定の即売会も開催されることがあります！また、今はコロナでほとんど開催されていませんが、刑務所などが主催する「矯正展」というイベントで販売されることもあります。

こうしたイベント情報は、↓のサイトで随時紹介されていますので、お近くで手に入れられるチャンスがないかどうか、ぜひチェックしてみてください！

<https://www.e-capic.jp/event/>

受刑者が作った製品が売れることは、作った彼らの励みになります。

そして、CAPIC製品の売り上げは、その一部を犯罪被害者支援団体の活動に助成させていただいています。

そんなCAPIC製品、ぜひ一度お手にとってみてくださいね！

~~~~~

3 更生コラム「アスキザス」Vol.3 ～第三の発想～

電車が出発する。ビールの憩い空間に誘うメロディが流れる駅がある。JR恵比寿駅の発車メロディは、映画史に名を残す「第三の男」で使われた「ハリー・ライムのテーマ」だ。「第三の男」は、第二次大戦後まもなくの英米仏ソによる四分割統治下にあったオーストリアの首都ウィーンが舞台。影が光を映し出し、沈黙が想いを語る。ハリー・ライムは陰の世界に住むミステリアスな男である。チャターで奏でられる名曲は、駅名にもなったビールのCMに使われたことから公募で選ばれた。

文壇にも「第三の男」は及んだ。安岡章太郎氏、吉行淳之介氏、遠藤周作氏らをいう「第三の新人」も、「第三の男」から採られたといわれる。相似性や継続性を基盤にしつつ独自性も持つ。課題を打開する発想を生むことから名付けられた「第三の…」は、数多い。未来学者アルビン・トフラーは「第三の波」で、第二の波の産業革命に続く変革によって、在宅が主な仕事場になると予見した。現在のテレワークである。宇宙の運動である惑星運動の法則を発見した天文学者にケプラーがいる。「コペルニクス的転回」を受けて、ケプラーの第一の法則、第二の法則、第三の法則を発見した。この法則の発見が、ニュートンの万有引力の法則という新たな重力の理論へと進化をとげた。歴史はいつも新たな展開を導く舞台の準備をする。

× × ×

パラリンピックはお互いの違いを認め合い、ともに生きる社会をめざすことを理念としてきた。皮肉なことだが、原点には戦争の大きな影があった。

「パラリンピックの父」といわれるのは、ルートヴィヒ・グットマン博士である。第二次大戦前のドイツで、ユダヤ人への迫害が激化。このため、ドイツを離れイギリスへ移住した。彼はドイツではユダヤ人として疎外され、イギリスでは英語が流暢とはいえない「外国人」であった。ある意味で社会の「第三の人物」である。

ある日、彼は、戦争で傷つき入院していた障害者たちが杖を使ってホッケーに夢中になっている光景を見る。その時、彼は障害者にとってのスポーツの必要性に出会ったのである。ブレークスルーはこれまでの次元から「ジャンプ」することで生まれる。彼の常識を覆す価値観の転換と実行力の源泉は、枠にとらわれないアウトサイダーだったからとする論考がある。

× × ×

「第三の～」を獲得された視野による展開力と表現するなら、更生の世界にもある。

「この仕事がどんなものか、よく知りませんでしたし、自分に務まるかもまるっきりわかりませんでした」。長年の更生支援活動で知られる千葉紘子さんは、篤志面接委員に誘われた時のことをインタビューで語っている。平成29年版犯罪白書のコラム「篤志面接委員の活動」に

登場している渡辺道代さんも篤志面接委員を始めたきっかけは、「こういう仕事があるけど、やってみませんか」と声をかけられたことだった。

篤志面接委員とともに更生を支える民間ボランティアの保護司。総務省が保護司について調査した平成31年のデータがある。保護司になったきっかけについては、71.8%が「友人・知人・家族から勧められて」となっている。「自ら進んで関係機関に申し出た」は1.5%にとどまる。様々な媒体を通じて知識を得ても、詰まるところ「やってみよう」と後押しするのは、周りからの声かけである。ここでは世界を大きく広げる「第三の展開力」は「人の力」にほかならない。

ところで、立ち直りをめざす人を縛る罪の履歴は、「時間が凍った世界」にある。フランスの哲学者ベルクソンは、「自由に振る舞うこと、それは再び自己自身となること」とする。リアルな時間の中でちゃんと生きているからこそ、「私」の中には、他の誰のものでもない私ならではの思いが形づくられる。自分に与えられた時間を自分のものとして生きることに私の存在と自由がある。「時間」と「自由」はこうして結びついている。時間を含めた意識の連続性が自我に統一性を与える。「出所者」「刑余者」は一時的なものであって、永遠の「身分」ではない。映画では「第三の男」は話の上で語られるだけの幻影的な人物だった。時間が刻々と動き、世界と関係する自由な行為がなされれば、実際の姿が現れ出る。真の自己は、現実の中にもう一度身を置き直すのである。

~~~~~

#### 4 お知らせコーナー

「関東更生支援ネットワークの「愛称」、募集します！」

本ネットワークの発足から3か月が経ち、順調に会員も増えてまいりました。

そこで、もっと皆様にこのネットワークを愛していただくため、また多くの方に本ネットワークのことを覚えていただくため、会員の皆様から「愛称」を募集することといたしました！

世の中には色々な愛称がありますよね。例えば、本ネットワークの事務局がある東京矯正管区には、「コレワーク関東」がありますが、この「コレワーク」も、実は公募で決まった愛称です（正式名称は「矯正就労支援情報センター室」といういかにもお役所っぽい名前です）。

「関東更生支援ネットワーク」も悪くないですが、やっぱり「お役所っぽい」ので、もっと親しみやすく、覚えやすい、素敵な名前をつけてほしいな、と思います。

応募した愛称が見事採用された方には、今回のメルマガでも紹介したCAPIC製品の詰め合わせ（3,000円相当）を贈呈いたします！

応募は事務局宛てメール（[1.toukyoukyousei.j7u@i.moj.go.jp](mailto:1.toukyoukyousei.j7u@i.moj.go.jp)）にて、タイトルに「関東更生支援ネットワーク愛称」、本文に愛称案を一つだけ記載して応募ください。

応募はお一人につき一度限りとさせていただきます（複数の応募があった場合は、一番最初の案のみ採用とし、その他は無効といたします）。また、応募案が既に他の組織・機関等で使用されている名称と同一だった場合は無効となりますのでご注意ください。

応募締切は、本年11月末日まで。皆様から頂いた案は、東京矯正管区と関東地方更生保護委員会で審査し、12月中に決定・発表させていただきます。

皆様からのたくさんのご応募、お待ちしております！

~~~~~

最後まで読んでいただきありがとうございました。

本メールマガジンの配信を止めたい方は、事務局（下記連絡先）まで、件名に「アスワ配信停止」と記載したメールを送信してください。本文の記載は不要です。

関東更生支援ネットワーク事務局 東京矯正管区更生支援企画課
Mail : 1.toukyoukyousei.j7u@i.moj.go.jp

会員の皆様からのご意見・ご感想もお待ちしております！

~~~~~